

全ての争議を解決し  
安全・安心の航空へ

# 航空連ニュース

航空労組連絡会  
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル  
Tel 03-3742-3251  
Fax 03-5737-7819  
No.1039 (37-2) 2022年11月8日

物価高の生活支援、寒冷地の暖房手当

## 一時金引上げ人員確保急げ

政府の水際対策の緩和に伴う入国制限の撤廃や短期滞在ビザの免除、さらには全国旅行支援策によって航空旅客は急速に回復しています。一方、回復を支える多くの職場で人員不足が指摘されています。とりわけグランドハンドリング職場の人員不足は一段と深刻さを増しています。

### JGS、年収2、3割ダウン 退職相次ぎ200名超

JGSでは、コロナ禍3年間で賃金は大幅な減収となりました。JGS労組の調べによると、2021年の年収は2019年対比で2～3割



の減収となっています。一時金の大幅なダウンが影響していますが、同時に基本

給の低さが改めて浮き彫りとなりました。こうした賃金が大幅に引き下げられるなか、退職も相次ぎ歯止めがかかっていません。

JGSでは、この3年間で自己都合退職だけで200名を超えています。10月末までに中途採用や事前研修生の受け入れなどで208名を採用し、さらに50名程度の追加採用を計画しています。しかし、退職者は多くの資格を習得した中堅層も多く、復便を迎える中で運航への影響が懸念されています。

### 懸念される人員不足

グラハン連（航空連の専門部）は「グラハンの人員不足は各社共通の問題になっている。国際線の本格的な回復に備え人員不足がないか職場点検が必要」と訴えます。

羽田空港でANAのグラハンを行っているANAASでは、コロナ過で実施した希望退職な

どによって社員が約2割減りました。そのため旅客部門などの人員不足に対応するため、客室乗務員やグループ企業から50名を超える業務応援を受け入れます。

グラハン業務は常に外注化の対象になってきましたが、人員不足は委託先にも広がっておりその実態はより深刻で、委託元から出向を受け入れ対応している会社もあります。

人材を確保するためには、一時金や基本賃金を引き上げ、生活の安定・安心につなげることが求められます。

### 企業も社員の生活支援に手当支給



新聞報道によると、物価高に対応や人材を確保するため、インフレ手当を支給する企業が相次いでいます。JGSグループ労組の団体でもあるGHUでは、年末要求として物価高支援として一律10万円を要求しています。また、日航ユニオン（JLU）は、灯油価格が高騰するなか、北海道などの寒冷地在住の従業員を対象にした暖房手当を要求しています。年末一時金や諸手当は、生活を守る切実な要求です。